

催し物のご案内

企画展「レッドデータの生物～知って守ろう 神奈川の生き物たち～」

開催期間／2017年12月16日(土)～2018年2月25日(日)
観覧料金／無料(常設展は別料金)

レッドデータブックとは動植物の生息状況を調査し、絶滅のおそれがある種についての情報をまとめたものです。レッドデータの生き物を知ることで、私たちに何ができるのか、一緒に考えてみませんか？



企画展関連行事

- 第127回 サロン・ド・小田原
「希少昆虫の保全現場最前線
～レッドリストが救うもの～」
日時／1月20日(土) 14:00～15:00
※当日受付・友の会と共催
場所／当館1階 講義室
話題提供／菊部 治紀(当館学芸員)
- 「レッドデータの生物を描く
～プロに学ぶサイエンスイラストレーション講座～」
日時／2月25日(日) 10:30～16:00
※事前予約制
場所／当館3階 実習実験室
講師／菊谷 詩子
(サイエンスイラストレーター)
松本 涼子(当館学芸員)
対象／学生、成人 12人
申込締切／2月6日(火)

イベント情報

- ミュージック・フェスタ 2018
開催日／3月10日(土)・11日(日)
ミュージック・フェスタは博物館の開館記念日を祝うお祭りです。今年もワークショップなど参加型の催しが盛りだくさんです。子どもも大人も楽しめるイベントですので、どうぞ皆さままでお越しください。
- 平成29年度 子ども自然科学作品展
開催期間／3月17日(土)～5月6日(日)
観覧料金／無料(常設展は別料金)
小田原市、南足柄市、足柄上郡、足柄下郡の公立小・中学生の皆さんによる、日頃からの研究の成果を展示します。
- 子ども向けワークショップ「よろずスタジオ」
開催時間／毎週日曜日 13:00～15:00
※当日受付・参加費無料
(第3日曜日は友の会と共催)

《事前申し込みの講座》

講座の内容・対象・申し込み方法等は、博物館ウェブサイトまたは催物案内をご覧ください。

- 室内実習「魚をもっと知りたい人のための魚類学講座」[博物館]
日時／①1月20日(土)・21日(日)
②2月3日(土)・4日(日)
各9:10～16:00
対象／中学生～成人 各回10人
申込締切／①12月19日(火) ②1月16日(火)
※①②は同じ内容で、それぞれ2日間の参加が条件です。
- 室内実習「ほねほねパズルで学ぶ動物のかたちとくらし」[博物館]
日時／1月27日(土) 10:00～12:00
対象／小学1～6年生
※保護者参加必須 20人
申込締切／1月9日(火)
- 野外観察「早春の地形地質観察会 厚木市七沢周辺の地質」[七沢(厚木市)]
日時／2月24日(土) 10:00～15:00
対象／小学4年生～成人
※小学4～6年生は保護者参加必須 40人
申込締切／2月6日(火)
- 「博物館ボランティア入門講座」[博物館]
日時／1月28日(日)～2月10日(土)
全体講義: 1月28日(日) 10:00～16:00
分野別実習: 期間中の1～2日
募集分野／植物、植物デジタル資料、菌類、哺乳類、昆虫、魚類、無脊椎動物(貝・カニ)、両生・爬虫類、古生物(貝化石)、古生物(脊椎動物化石・植物化石・微化石)、博物館教育プログラムの11分野
定員／各分野 3～16名
申込締切／1月9日(火)

ライブラリー通信

文人たちの博物誌② 正岡 子規の巻

つちやきだお
土屋 定夫(司書)

2017年は近代俳句の祖と言われた正岡子規の生誕150年目にあたります。

子規は34年という短い生涯に25,000句ほどの句を作りました。俳句には自然に関する言葉を詠み込むことがありますが、子規も多くの動植物名を句に取り入れています。その子規の句を脊椎動物に絞って調査し、一冊の本にした人がいるとしたら、皆さんはどう思われますか？ えっ、なぜ、脊椎動物なの？ とまず疑問に思う人もいるでしょう。

実は著者である長尾壯七氏は日本大学家畜病院長や日本ペット&アニマル専門学校長などを歴任し、現在はNPO法人 全日本動物技術協会の代表を務めている獣医師なのです。著者が調査した2万句あまりの中で、脊椎動物句の数は約2割に当たる3,900句ほどあるそうです。

その著書のタイトルはズバリ『正岡子規の脊椎動物句』、かなりダイレクトですね。

本文は一章毎に「哺乳類」「鳥類」「爬虫類」「両生類」「魚類」に分かれ、それぞれの類の中は動物名の多い順に配列され、種分類と解説が付けられています。例えば「哺乳類」では、355句で最多の馬について、馬〔奇蹄目 馬科 馬属 馬 家畜亜種〕、次いで馬の歴史や馬の句の背景などが記されています。

「爬虫類」ではトカゲについて、「有鱗目(蜥蜴目)蜥蜴下目 蜥蜴科 蜥蜴亜科 蜥蜴属 日本蜥蜴など」と分類され、トカゲの句が一句しか見当たらないことから、子規はトカゲがあまり好きではなかったのかもしれないと推測しています。しかもその句の蜥蜴の文字が何故か逆に書かれていることも指摘しています。

うつくしき蜥蜴も出たり花菫

動物を通して子規の俳句を見てみると、また異なった世界の広がりを感じることができるかもしれませんね。



東京四季出版 2006年

【催し物への参加について】

講座名・開催日・代表者の住所・電話番号・申込者全員の氏名・年齢(学年)を明記の上、往復はがきにて当館住所まで郵送、またはウェブサイトからお申込ください。応募者多数の場合は抽選となります。抽選で落選した方に対し、キャンセル待ちの対応を行います。ご希望の方は、お申込時に、その旨をご記入ください。参加費は無料ですが、講座により傷害保険(1日50円/1人)への加入をお願いすることがあります。

問い合わせ先 企画情報部 企画普及課

生命の星



自然科学のとびら
第23巻4号(通巻89号)
2017年12月15日発行
発行者 神奈川県立生命の星・地球博物館
館長 平田大二
〒250-0031 神奈川県小田原市入生田499
Tel: 0465-21-1515 Fax: 0465-23-8846
http://nh.kanagawa-museum.jp/
編集 本杉 弥生
印刷 株式会社あしがら印刷

© 2017 by the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History.

*冊子体には再生紙を使用しています。